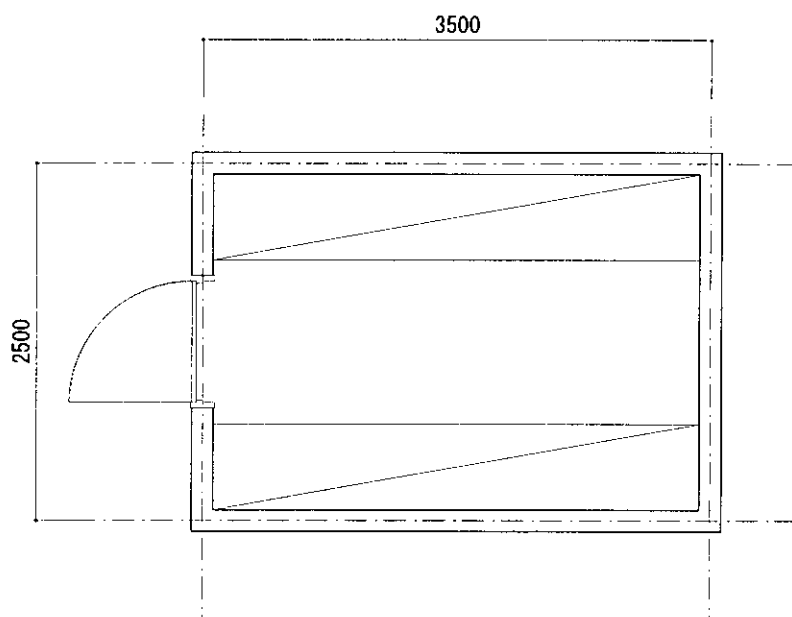


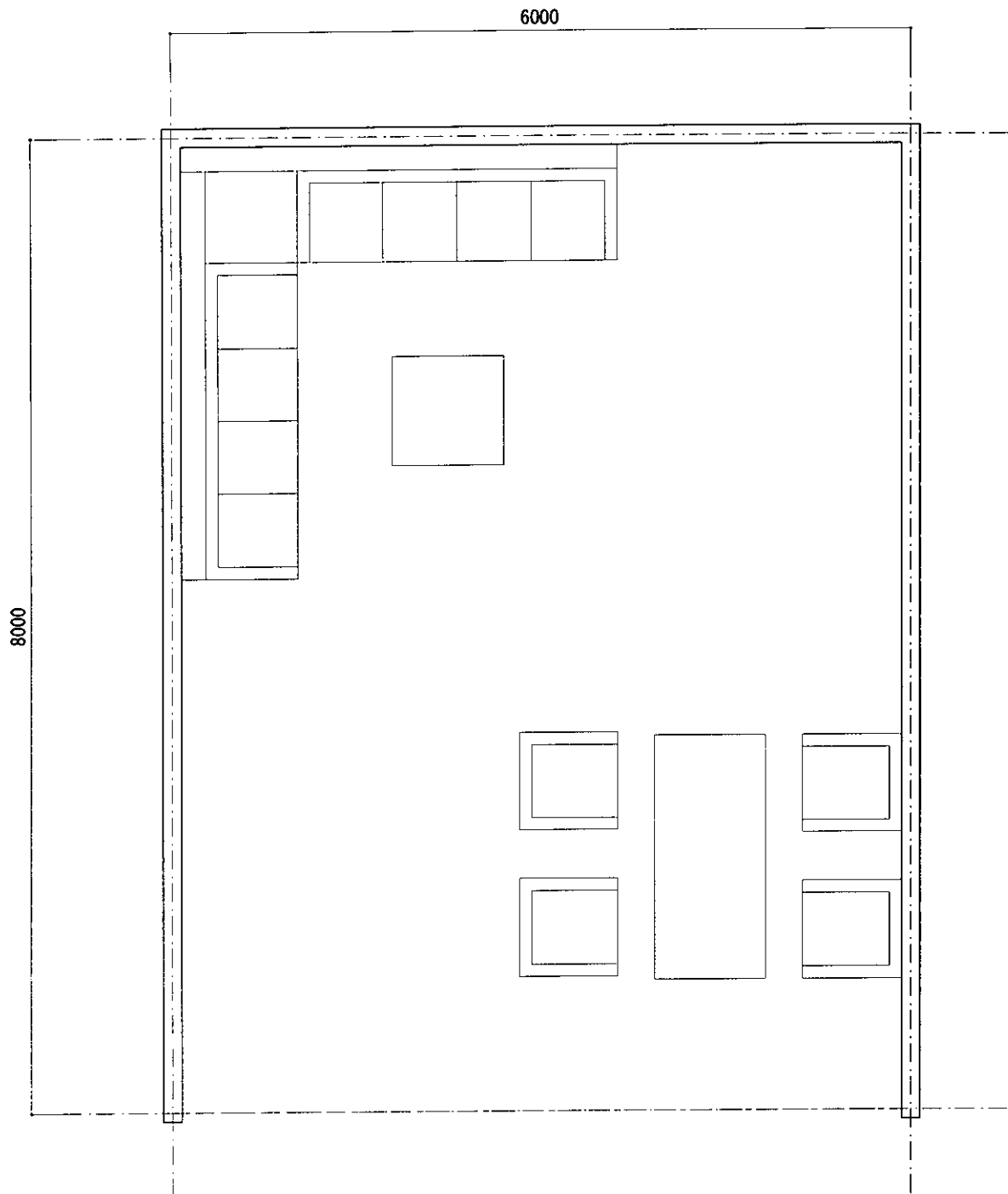
# ゴミ置場

定期的にゴミを回収するまでの間、一時的にゴミを保管しておくスペースとして利用する。



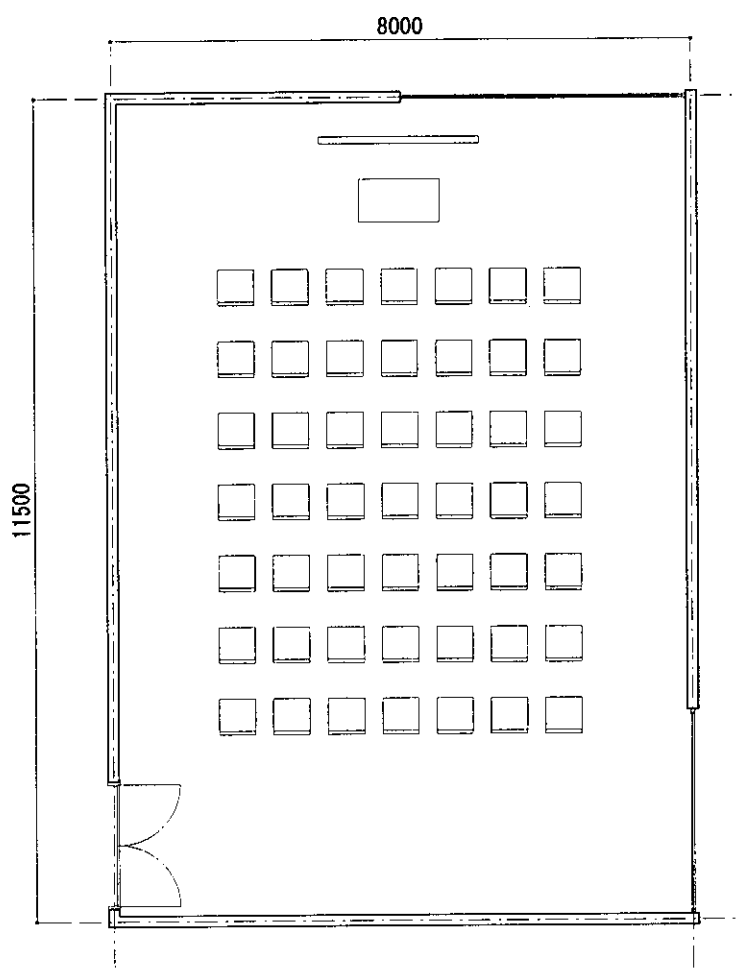
# ラウンジ

専従スタッフ間のコミュニケーションを醸成するために、スタッフがくつろぐ空間を病棟内に設置する。日勤帯のスタッフ数が非常に多いことに配慮する必要がある。



# カンファレンス室

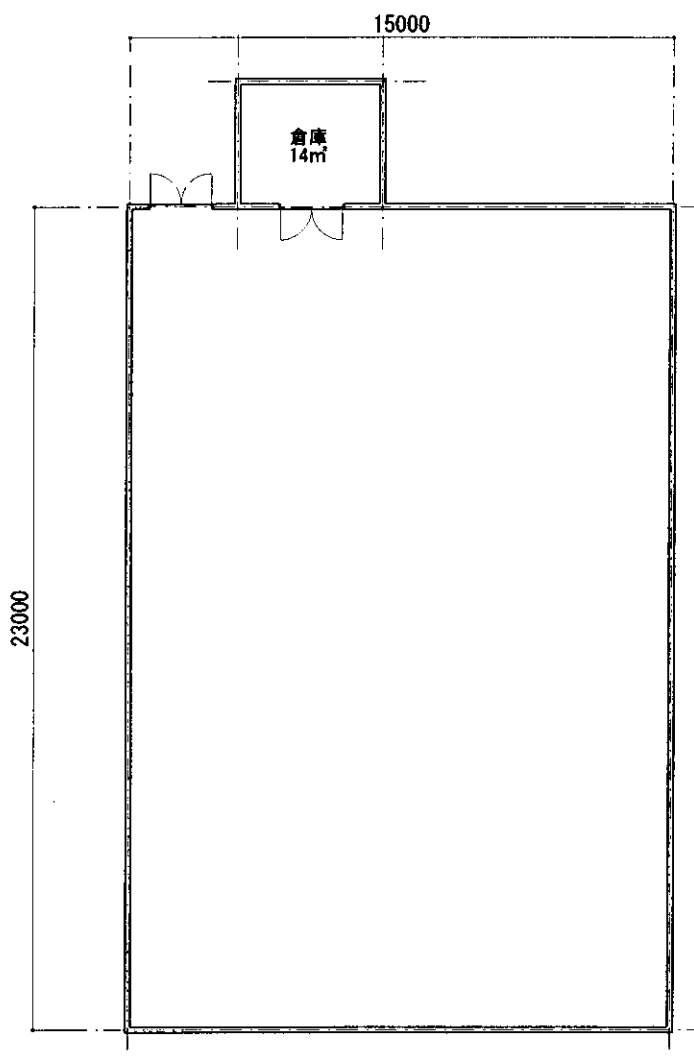
概要： 最大で50名程度が着席して、カンファレンスを受けられる空間を確保



1/100

# 屋内スポーツ

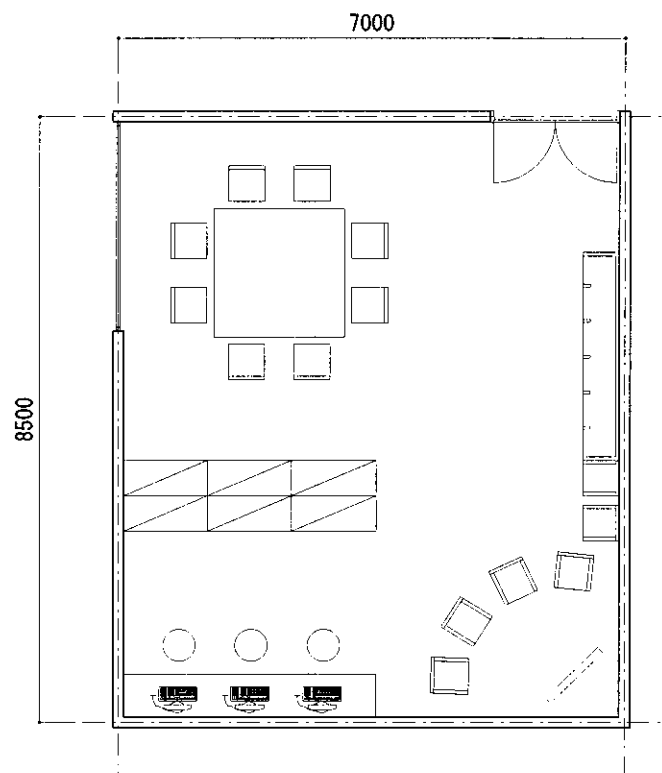
- 概要：
- ・室内競技として、バレーとバトミントンができる広さ。
  - ・バレー19m×10m（コートまわり余白各50cm含）＝190㎡、天井高12.5m
  - ・バトミントン14.4m×7.1m（コートまわり余白各50cm含）＝102.2㎡、天井高8m
  - ・附属倉庫



1/200

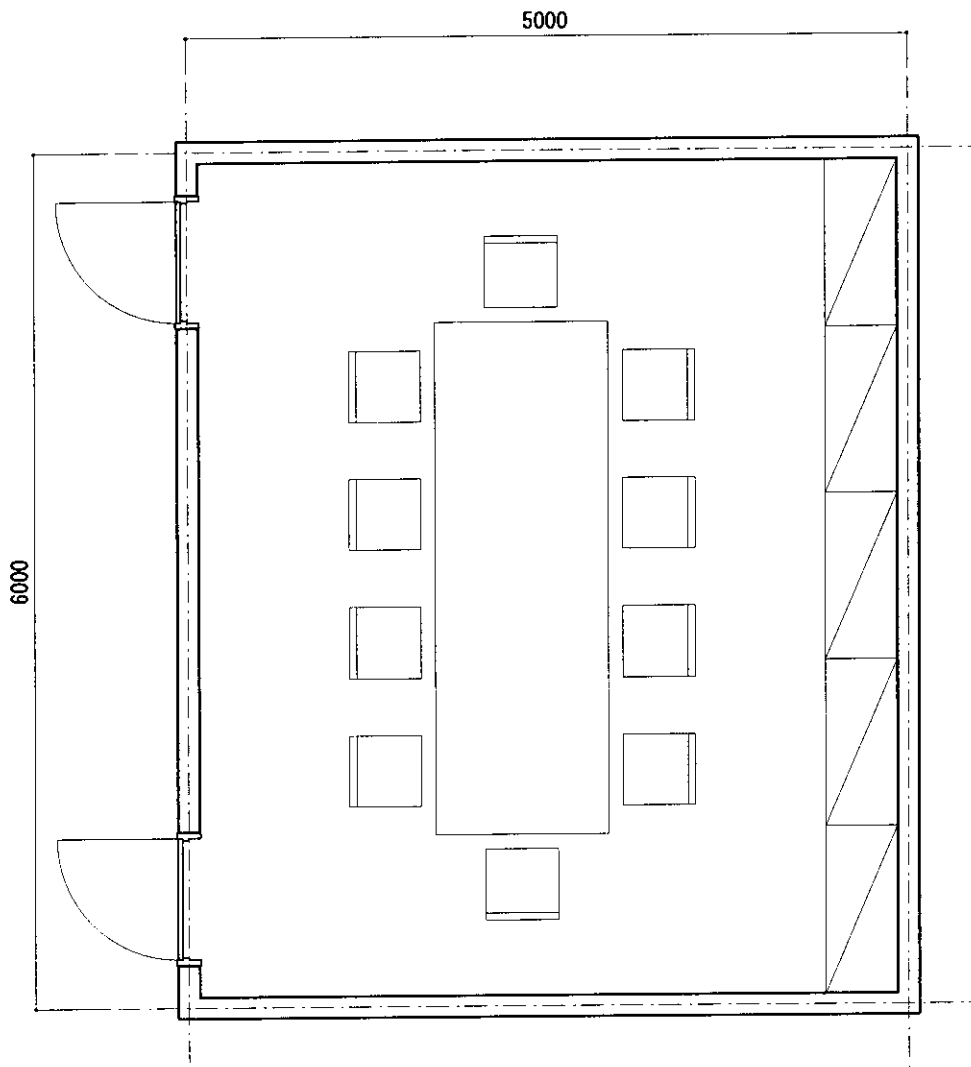
# 作業療法室

概要： 8人が作業できるテーブルが3台+小作業台、収納などを設ける。



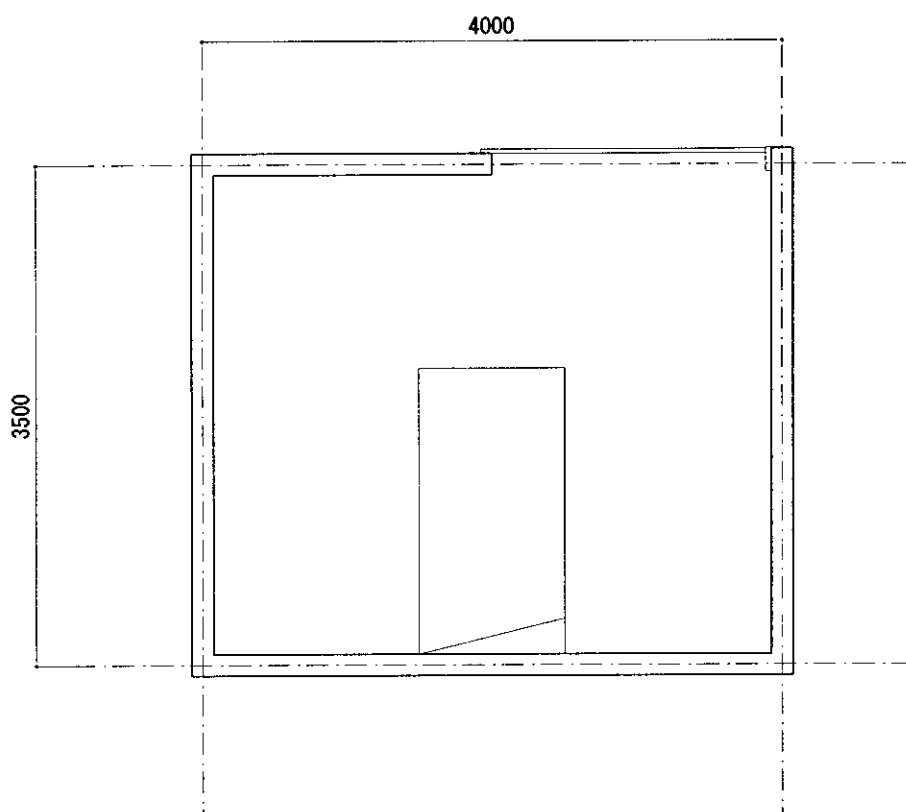
# 集団療法室

概要：1室に患者10人とスタッフ2～3名が同時に着席できるテーブルセットと、図書コーナーを設ける。



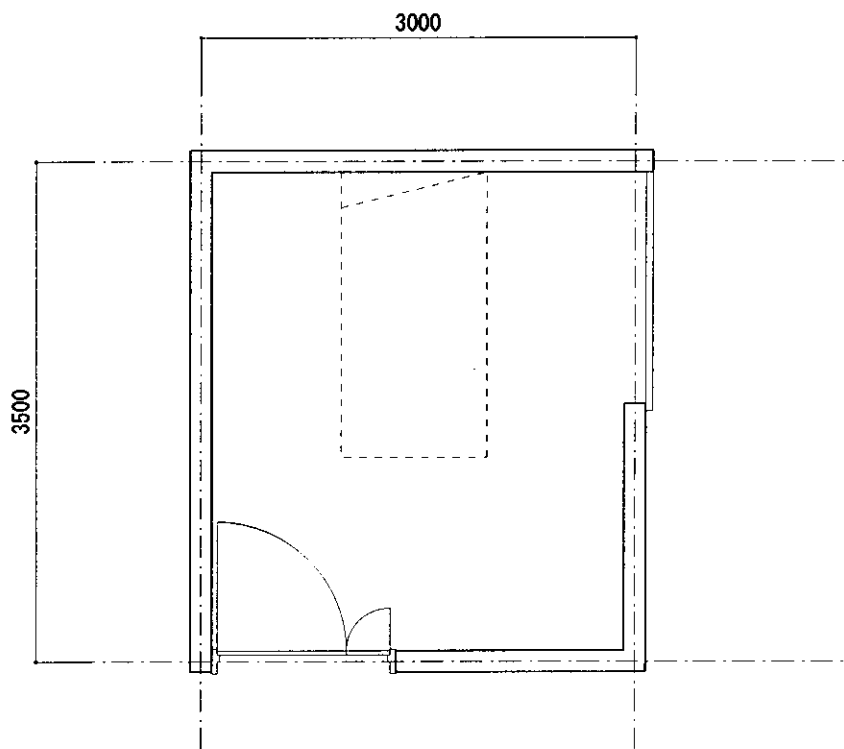
# PICU

身体的な治療を行うための部屋として利用する。スタッフステーションに近接しており、観察が容易である必要がある。また酸素や吸引といったもののセントラルパイピングがされている。



# 回復

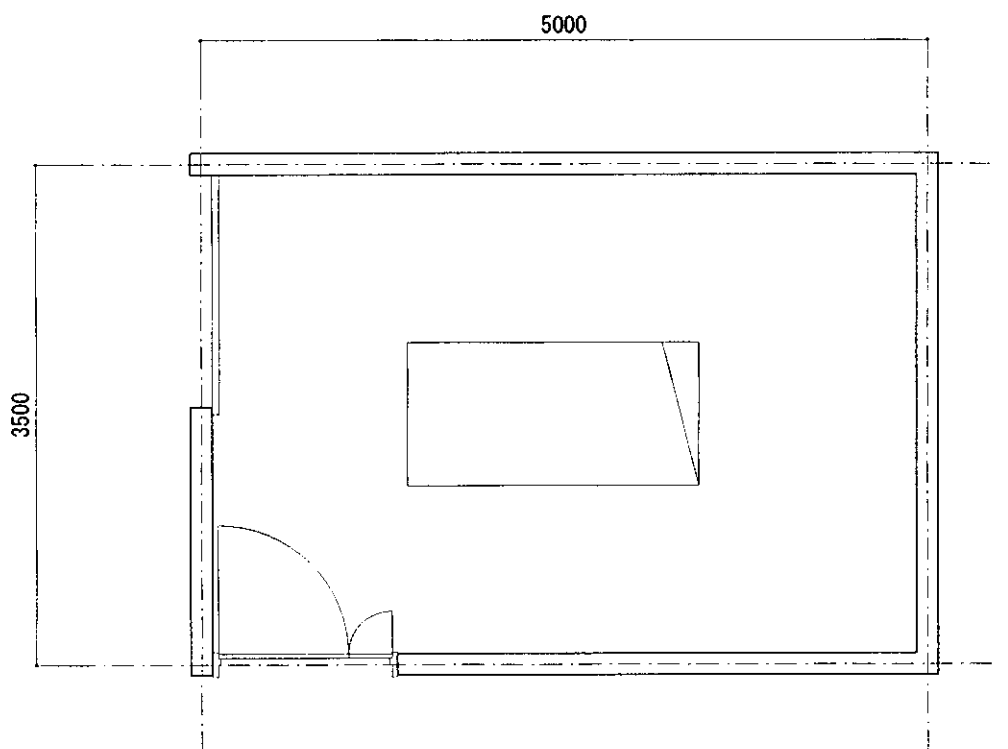
ETCを実施した後の回復室として利用する。





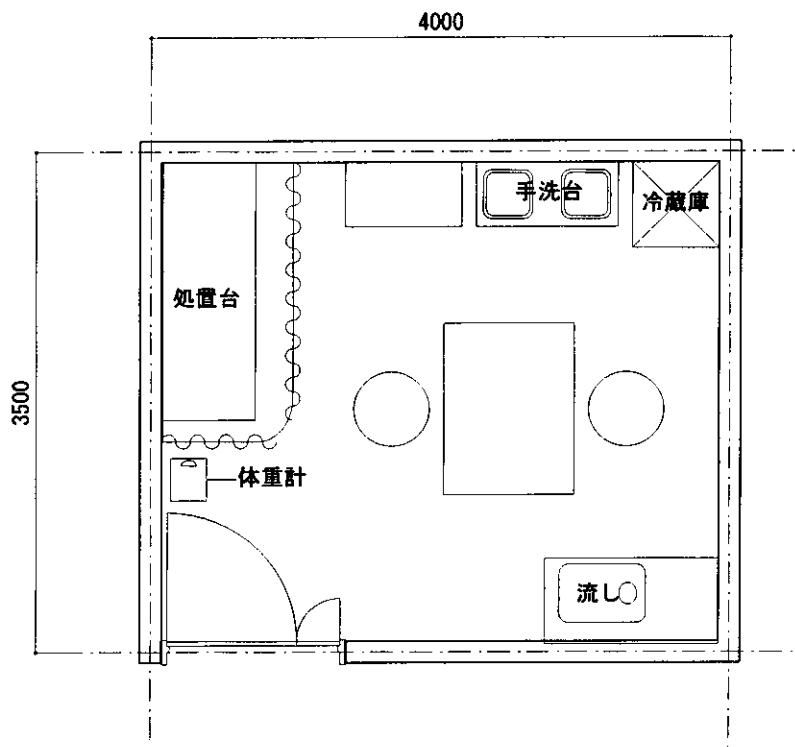
# ECT

病棟内にECTを行うための専用室を設ける。



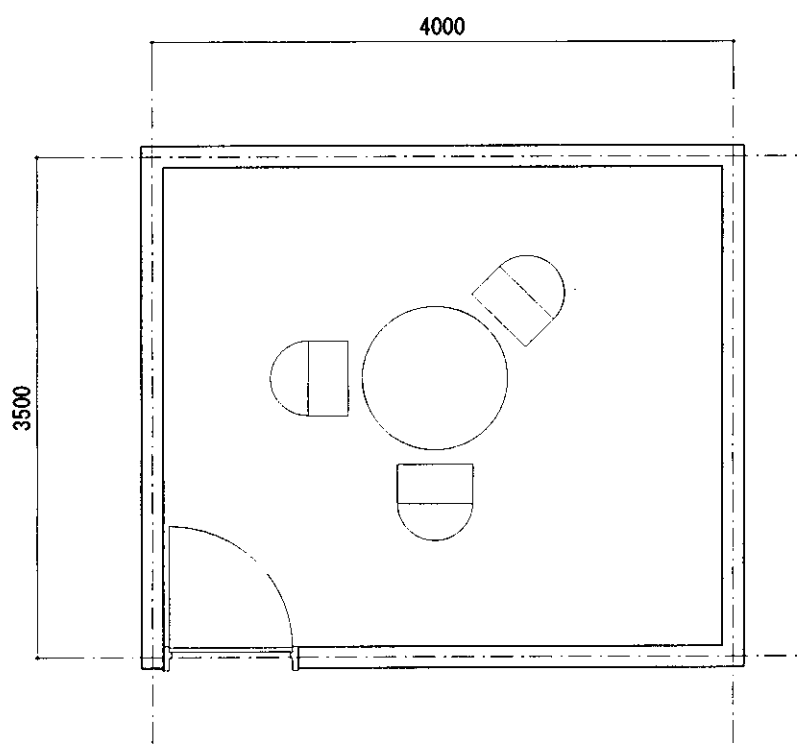
# 処置室

概要： 一般的な処置室計画に準じるものとする。



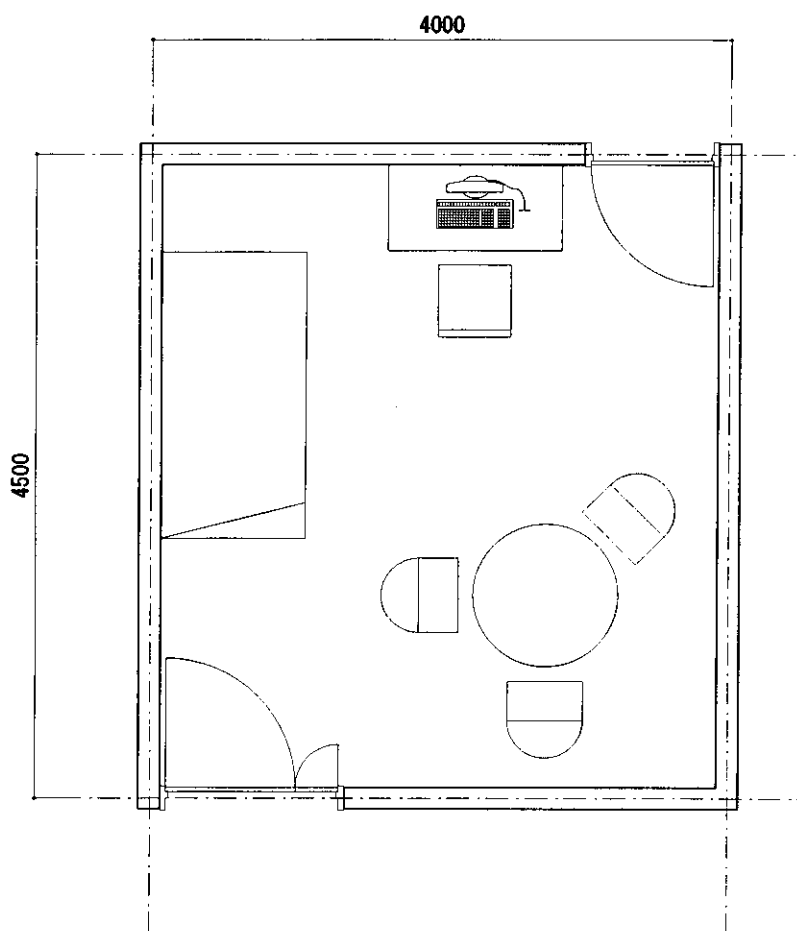
# 面談室

概要： 診察・面談に供する部屋は、患者がリラックスした状態でコミュニケーションをとれ、かつ興奮状態時に医師が危害を被らない人体距離を保てる規模を確保する。



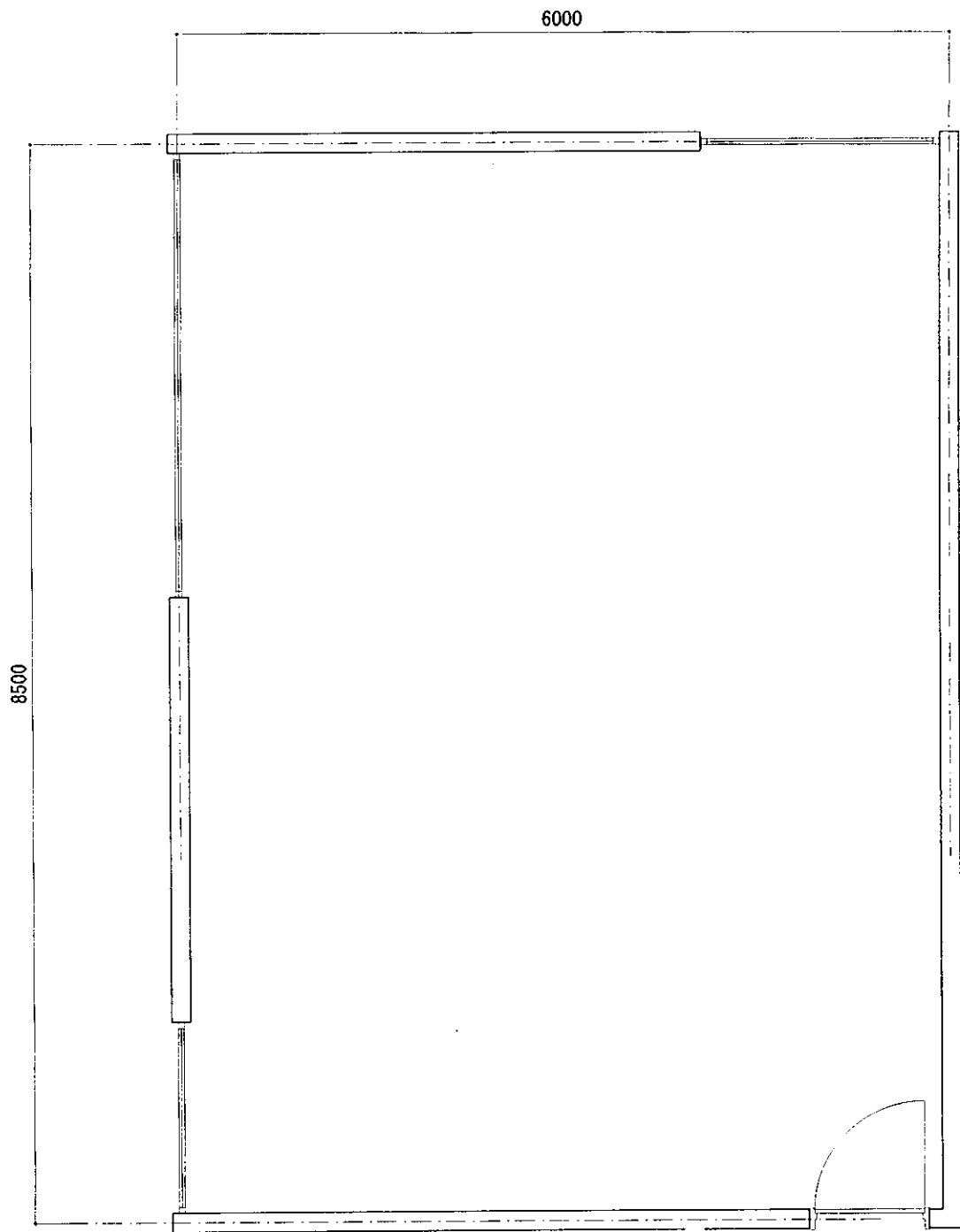
# 診察室

概要： 診察・面談に供する部屋は、患者がリラックスした状態でコミュニケーションをとれ、かつ興奮状態時に医師が危害を被らない人体距離を保てる規模を確保する。



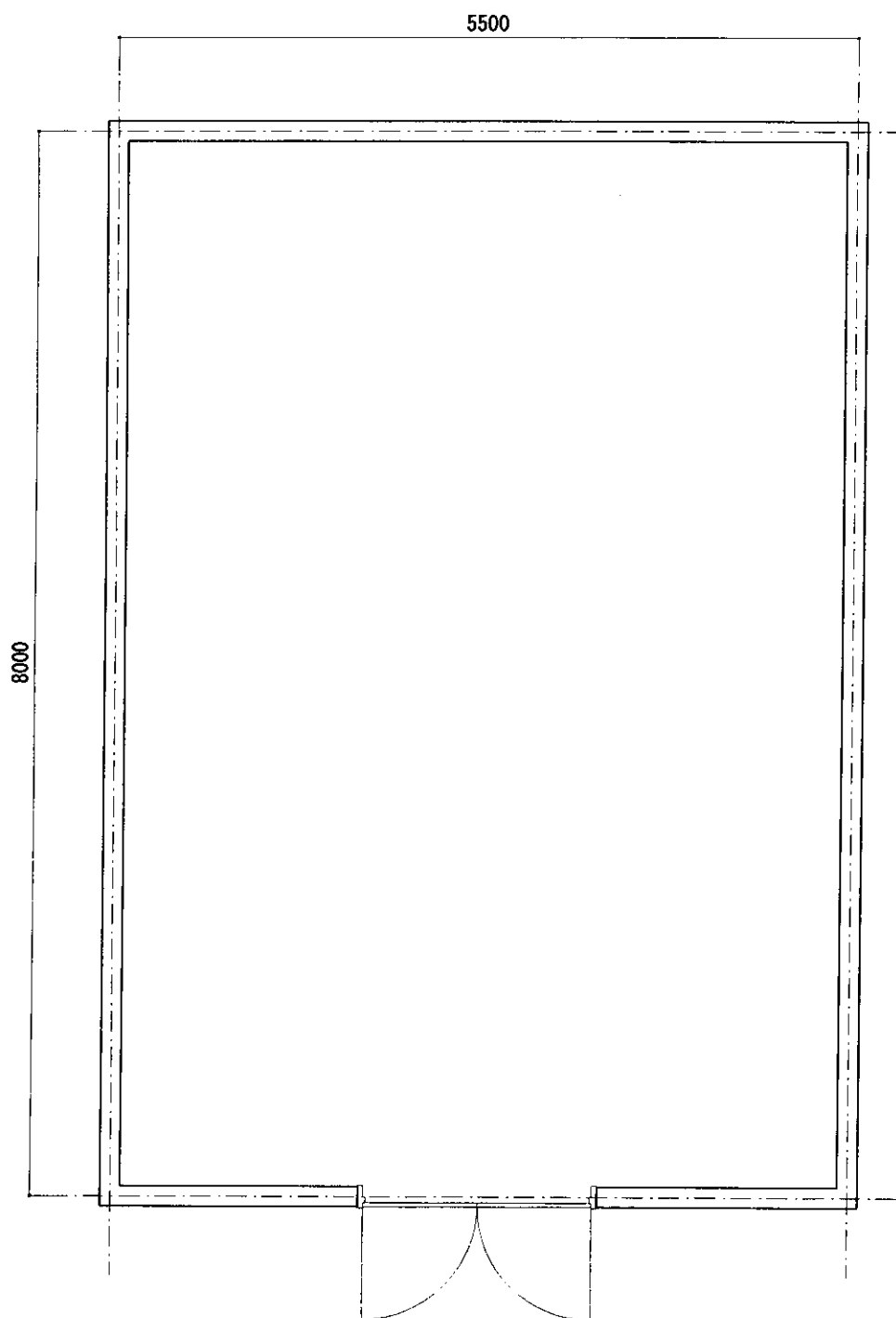
# スタッフ室

多職種で構成される専従スタッフが、自分の机を持ち、共同で治療に当たる雰囲気を作成するために共用のスタッフ室を構成する。



# 私物庫

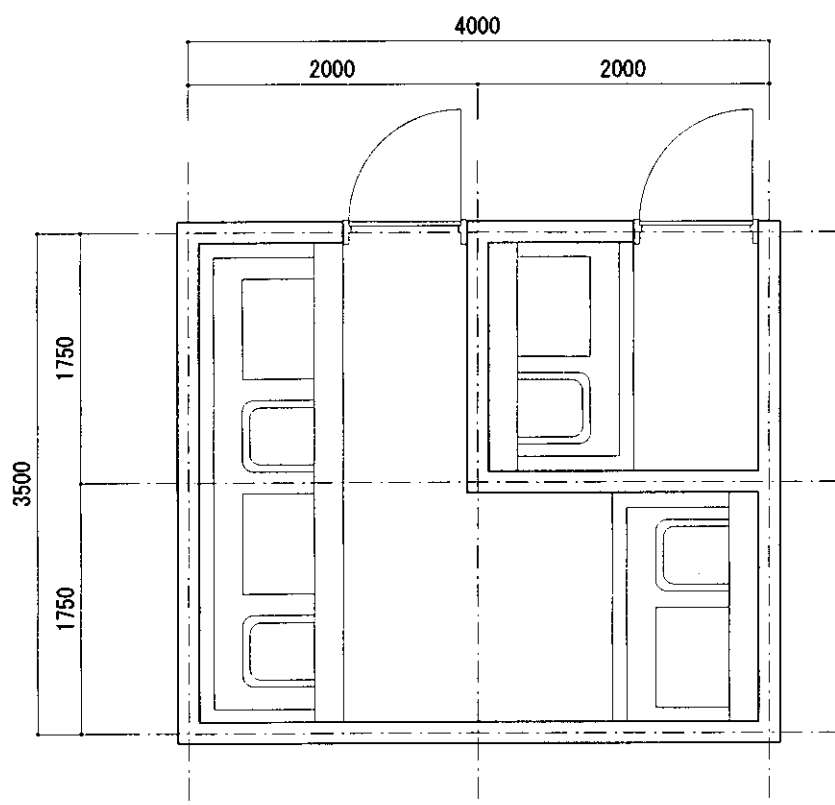
概要： 入院時に患者の私物を預かるロッカースペースを病棟ごとに設ける。  
患者1人当たり巾0.5m×奥行0.5m×高さ1m程度のユニットを組み合わせて構成する。



1/50

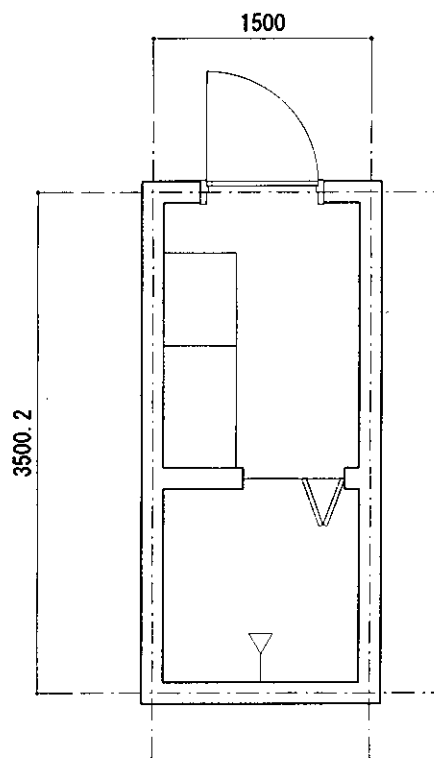
# 洗濯・乾燥室

概要： 男性用・女性用で室を分ける。男性用は（洗濯機＋乾燥機＋流し）が3セット。  
女性用は1セット設ける。



# 共同シャワー

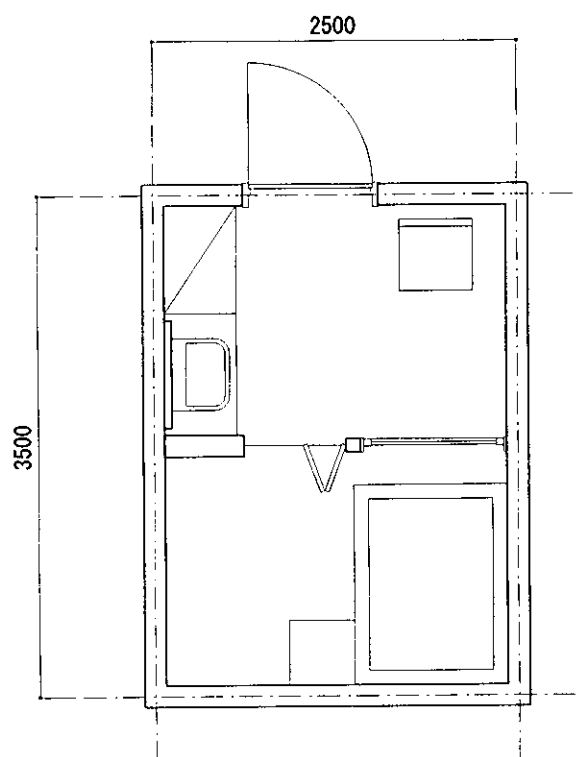
概要： 病棟内に複数箇所、共同で使用できる1人用のシャワーを設置。





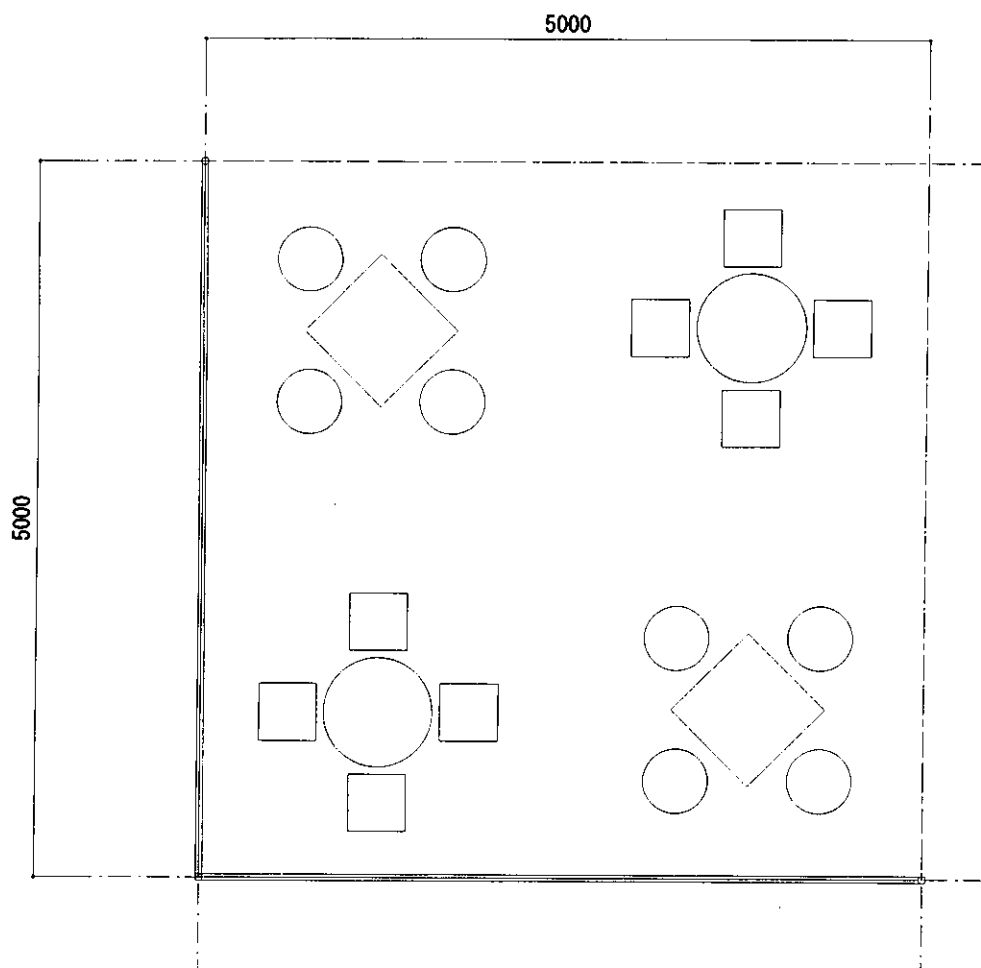
# 共同浴室

概要： 病棟に複数箇所、共同で使用できる1人用の浴室を設置。患者が入浴中、監視できるようにする。



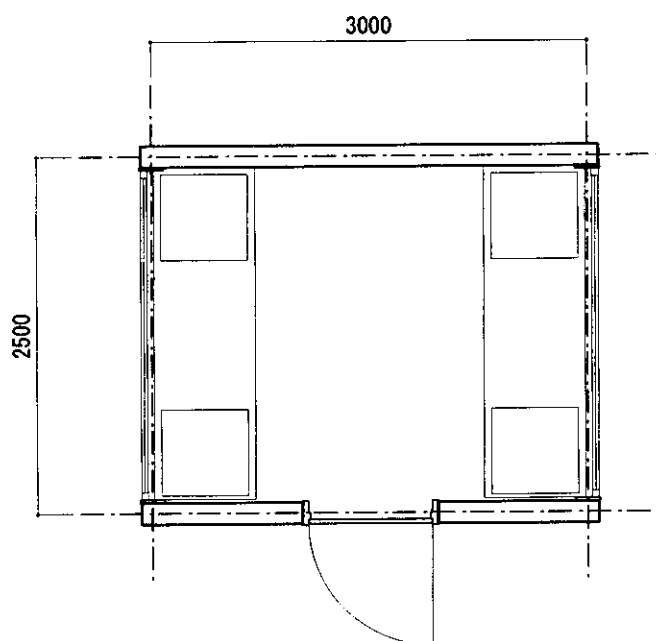
# 小空間

少人数が集まることができるような空間。病棟内のこのような空間で様々なアクティビティを展開することができる。また周辺の通路や近接した食堂などを一体として利用すると、病棟内の全患者を一堂に会することができる。



# 喫煙室

概要： 精神医療施設では利用頻度が高い室であるが、患者同士のトラブルを回避するため対人距離が十分に取れる広さのものを、病棟内に複数設けることを想定。



# TV室

テレビ・ラジオ・CD・MD・DVDなどといった視聴においては音の問題が生じる。TV室のような囲われた空間を設置することにより、他の患者の日常生活に騒音が伝わらないようにする。

